健康相談室ニュース 第三十号

発行　駿河台大学健康相談室委員会

平成二十八年十二月 発行

ある朝の電車内の光景から

✏ 経済経営学部　大山　明男

ある朝、所沢から通勤するために池袋線の電車に乗った瞬間に、とりわけ二種類の行為の若者がいつもより混んだ車内で目に入った。そのとき同時に頭をよぎったことは、少し先の駅である種類の行為者に下車、もう一種類の行為者にはその駅は乗り過ごし、私と同じ駅で下車して欲しいということであった。

まず目的の最初の駅に着いた。乗り過ごして欲しい種類の若者は降りて行く。まずここで一度目のがっかり。逆に降りて欲しかった種類の若者は乗り過ごし、先と同じ行為に没頭している。そして元加治駅について私が降りようとするとその若者も降りている。ここで二度目のがっかり。この早朝のすでにどんよりした気分の中、　先の若者の後を大学行きバス停に向かう。

さて、最近キャリアセンターで入手した「学内業界セミナーのお知らせ」が手元にある。その中の「注意事項」には、「行き帰りのスクールバスには企業の方が同乗しています。言動にはくれぐれも注意すること。 特に帰宅時のスクールバス、電車の中での言動や態度には気を付けること」とある。これの意味するところはお分かりだと思うが、それはあるセミナー前後に限らない。セミナーに参加した特定の学生についてのセミナーに関する言動への先の注意は、言動がその個人にだけ返ってくると限定したものである。しかし、普段の通学時の電車での言動は駿河台大学学生の評判を形成する。それはその言動の当事者だけでなく駿河台大学学生全体のである。元加治駅で降りる若者が駿河台大学学生であることは周辺住民なら分かっているはずである。

先の二つの行為は、一つが読書(何か本を読んでいた)でもう一つがゲーム(一生懸命に画面を触っていた)である。授業中のスマホ弄りやゲーム行為はいくら注意しても無くならないでの、最後は本人に返ってくるものだということにしてある程度のところで授業の進行に集中することになる(それでも授業全体の士気の低下に影響しているが)。通学時のゲームは本人を含め駿河台大学学生全体のイメージや評判を形成する。ゲームをしない学生もたくさんいることは知っているが、そのような学生にも良からぬ影響を与えてしまうのである(これを「負の外部性」という)。

以上は、当事者による他者や集団全体への影響という観点で述べたが、当事者の立場でも考えてみよう。ふつう、これから何をしに行くのかということを考えるとそこに臨むにあたってやることやらないことはある程度決まってくるだろう。そうであるからこそ、一番恐れているのは、これからの行き先での目的はゲームであってだからそのウォームアップなんだけどという返答であるが、もう一度自分にとっての目的を考え直してみて欲しい。そうすると朝の電車内の光景が違ったものに、そしてそれが波及していろいろなことが今と違ったものになるかもしれない。

12月以降の学生相談について

学生相談（カウンセリング）は、12月以降 冬期、春期休業や入学期試験の実施などに伴い、閉室となる日があります。左の表を確認のうえ、来室して下さい。学生相談を希望する場合は直接、健康相談室をたずねてください。電話での予約受付も行っています。

【健康相談室】０４２(９７２)１７８３（直通）

開室時間　９時～１７時

2016年《 12月 》

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2017年《 1月 》

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2017年《 2月 》

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

2017年《 3月 》

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

□ 開室　■ 閉室

☆＊☆＊☆＊